

# 教育研究業績書

2017年10月20日

所属：生活環境学科

資格：教授

氏名：森田 雅子

研究分野	研究内容のキーワード
表象芸術論（意匠史・図像史・美術史）・舞台芸術論 生活文化論	演劇 生活美学
学位	最終学歴
文学博士	ボン大学 人文学部 美術史学科 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 双方向性とプロジェクト性	2012年4月1日～現在	<p>●全ての授業においてアット・ホームで自由闊達な雰囲気づくりに努めている。講義においても毎回多数の発言、質問を受けられる、双方向性のスタイルを堅持している。</p> <p>●全ての授業において主体性、プロジェクト性と問題提起性を重視している。これはグループによるディスカッションやプロジェクト実施、発言・発表などの演習の流れにも表れている。のみならず、レポート課題の設定においても、学生の主体的な問題提起の姿勢を要求している。</p>
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 生活美学論	2015年8月1日現在	生活美学の基礎理論に関する教材を作成した。生活美学の考え方と対象を説明し、五感を中心とした美感の分析を行い、生活美学とデザイン資本主義の関係性を考察する。
2. 生活文化演習	2011年4月～	生活の質感を表すさまざまなモノ・コトを集め、自己のアイデンティティと幸福感との関わりを探り、生活とデザインの関係性を調査する。この授業では文献調査に関わる部分は他の担当者が指導している。
3. 生活デザイン論	2011年04月～現在	生活とデザインの関係性を検証する。現代生活を様々な視点から見つめなおし、消費—廃棄—再生—循環というサイクルを通じて、現代デザインの生活演出の役割や方向性・機能、つまり、用と美について考える。また東日本大震災を契機とし、和の「引き算の美学」「ほどほど」「渋い」「侘（わ）び」「寂び」の生活文化における意義について再考する。
4. 舞台美術の素材について	2004年06月	舞台美術に使用される柔らかい素材について、造形性、加工性、質感効果、光環境による表現の可能性について解説。舞台特有の演色性の問題にも触れる
5. 服飾デザイン論	2004年04月～現在	<デザインする>視点からファッションを検分。デザイン構成要素の分析、要素を使った演習、ファッションショー鑑賞、タウン・ウォッチングによる販売実態に即したデザインの効用を分析する演習を挿入。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. ボン大学人文学部 Ph.D 学位取得（中世キリスト教美術史）	1987年02月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 「祈りの遊具ミニチュア生活財の表象的機能—欧米フィールドワークより 平成21—22年（2009—2010年）—」（	単	2012年10月	横川公子編著『生活の美学を探る』光生館, 37—50頁.	生活美学的観点より食玩を考察

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
2. 「生活美学の展望 ―虚構性と生活文化―日常性と非日常性の狭間」	単	2012年10月	横川公子編著『生活の美学を探る』光生館, 189-201頁.	東日本大震災後の生活美学の方向性と展望について
3. 「ミニチュア生活財の表象的機能―欧米フィールドワーク概要―平成21-22年(2009-2010年)」	単	2011年3月31日	『報告書：研究経緯および資料 平成20-22年度科学研究補助金(基盤研究(C))「生活財としての食玩に関する表象文化的研究(課題番号20520145)」』, 食玩研究会, 21-43頁.	食玩類似生活財(ミニチュア・フィギュア)の比較文化的考察
4. 「研究経緯 生活財としての食玩の表象文化的研究 祈りと癒し―ミニチュア生活財の機能―」	単	2011年3月31日	『報告書：研究経緯および資料 平成20-22年度科学研究補助金(基盤研究(C))「生活財としての食玩に関する表象文化的研究(課題番号20520145)」』, 食玩研究会, 3-20頁.	食玩研究会の研究経緯について
5. 『報告書：研究経緯および資料 平成20-22年度科学研究補助金(基盤研究(C))「生活財としての食玩に関する表象文化的研究(課題番号20520145)」』	共	2011年3月31日	共著・編纂 食玩研究会他, 121頁, 資料48葉.	平成20年度-22年度 科研研究報告
6. 「生活における美化行動の役割―愛もお金もモノもゴミも―あなたから出たものはあなたにかえる―」	単	2011年10月1日	横川公子編著、『生活をデザインする、《生活環境学をの知》を考えるシリーズ3』136-144頁.	地域のポイ捨てゴミの私的ボランティア活動、家庭の生ゴミのコンポスト化についての考察と報告
7. 『服飾史・服飾美学関連論文要旨集 1998?2008』	共	2010年03月	建帛社	日本家政学会服飾史・服飾美学部会他 日本家政学会服飾史・服飾美学部会は戦前・戦後の関連文献を収集し、すでに第一巻を発行している。今回は二十周年記念として第二巻を刊行した。ミュージアム関連の文献の充実、CD-ROMの添付をしている。
8. 『貞奴物語 ―禁じられた演劇―』 ナカニシヤ出版	単	2009年07月	ナカニシヤ出版	社会の不条理や理不尽は、ややもすると脆い弱者にふりかかる。この不条理の強襲を逆転の発想で利用して助成は社会進出してきた。明治以降、女優業が女性の職業の一つとして評価されるようになった経緯に川上貞奴は深く関わっている。明時・大正期の女優を取り巻いた社会と政治を描きつつ、演劇の社会的意義を問う評伝である。
9. 関西文化研究叢書 7 『東アジアにおける洋装化と洋装文化の形成』 一第4回MKCR国際シンポジウム・報告集	共	2008年03月	武庫川女子大学関西文化研究センター	横川公子, 井上雅人, 山本泉, 李子淵, 柯雪琴, 森理恵, 森田雅子, 他 2007年6月開催シンポジウム発表「洋装化とジェンダー」
10. 食玩展 象徴として生活文化をあやつるもの	共	2007年07月	武庫川女子大学資料館	延藤久美子, 岡田春香, 北村薫子, 櫻谷かおり, 西田徹, 山本泉, 横川公子, 野田仁美 「食玩の形と食感 ―口と贈与儀礼にまつわる感情」
11. 服飾におけるジェンダーの比較文化的研究(16500485) 平成16年度?平成18年度科学研究費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書 研究代表者 日本女子大学 家政学部 佐々井啓	共	2007年06月	日本女子大学 家政学部	佐々井啓, 徳井淑子, 好田由佳, 米今由希子, 柴田美恵, 横川公子, 森理恵, 森田雅子 「日本近現代の女優におけるセクシュアリティとジェンダー―川上貞奴の事例」I. 遺されたる川上貞奴 > II. アイコンづくり―身分の超克を目指す装飾衝動―III. アール・ヌーボー隆盛期における象徴主義と女性の表象としての役割 IV. S字形シルエットの流行 V. 洋装美の貞奴 VI. ジェンダーによる象徴操作の違い
<b>2 学位論文</b>				
1. "Das Bilddenken am Verduner Altar -ein Beitrag zum Nikolaus-Problem"(ヴェルダナー祭壇における図像学的思考)	単	1987年2月	ボン大学出版局(旧西ドイツ)	12世紀キリスト教美術最高峰のひとつでありながら未解析の部分の多いオーストリア・クロスターノイブルグ僧院のいわゆるヴェルダナー祭壇に図像学的アプローチによる分析・解釈を施し、従来見過されていたキリスト論的意義を再発掘したもの(427頁)。ボン大学人文学部の博士論文審査で「最優秀賞(d issertatio egregia)」を受ける。記念講演を行い、また1988年の日本人としては初めての「パウル・クレメン」賞受賞はこの論文の成果による。受賞はラインランド新聞二誌で報じられる。
<b>3 学術論文</b>				
1. 甲子園会館西ホールに見るハイブリッドの美学 ―響き合う招福の徴に関する空間象形的試論―	単	2017年3月	生活美学研究所 甲子プロジェクト 1号	打出の小槌の意匠と甲子園会館西ホールの装飾についての分析

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
2. 生活美学研究の今後 (4)	単	2017年11月(刊行予定)	武庫川女子大学生生活美学研究所紀要 第27号	日常生活で邂逅する嗅覚現象の質的分析の結果、嗜好品が重要な位置づけにあることがわかった。嗜好品のうち、お菓子の特性に注目して考察する。
3. 生活美学研究の今後 (3)	共	2016年11月	武庫川女子大学生生活美学研究所紀要 第26号 161-169頁	美・醜の感覚が日常生活において持つ役割を、嗅覚出現に関する定量的分析と質的分析を行い、理解する試みである。
4. 生活美学研究の今後 (2)	単	2015年11月	武庫川女子大学生生活美学研究所紀要 25巻 133-145頁	1970年代に欧米に現れた生活美学の新しい動きを中心に分析する。特にメキシコの美学者 カティア・マンドキの生活美学を詳細に考察する。
5. 生活美学研究の今後 (1)	単	2014年11月	武庫川女子大学生生活美学研究所紀要 24巻 159-170頁	平成2年(1990年)に設立された生活美学研究所の研究活動を歴史的にふりかえり、同時に第二次世界大戦後から現在までの「生活美学」の7つの意味の変遷を考察する。
6. “Less is more: Urban Lifestyles in Transition; an Aesthetic Reappraisal of Traditional and Rural Values (引き算の美学—変化する都市の生活様式・伝統的価値の見直し—)”,		2013年 4月	Parole: quaderni d'arte e di epistemologia (『パローレ: 芸術と認識』(シンポジウム記録集), Osaka University Graduate School of Letters: The Arts and Crafts of the City. Publication of the Laboratory for Research on the City, Institute for Advanced Studies, University of Bologna, Atti dell' Italy /Japan Research Workshops del 23 settembre 2012 (Osaka), a cura di Laura Ricca, イタリア・ボローニャ大学 都市研究所, 森田雅子(単著) 35-54頁, <a href="http://www.parol.it/articles/Arts-and-crafts-of-the-city_20130624.pdf">http://www.parol.it/articles/Arts-and-crafts-of-the-city_20130624.pdf</a> .	引き算の美学を変化する都市の生活様式や伝統的価値の見直しの事例を通じて探る。
7. 現代日本のチャリティー事業の生活文化的特性—チャリティーグッズの贈与論的分析を中心に—	単	2012年2月	生活美学研究所 生活デザイン小研究会報告書、57-64頁。	応援消費としてのチャリティーグッズの動向を検討する。
8. 「Disaster and (the role of) the performing arts (天変地異と演劇)」	単	2011年11月	生活美学研究所紀要 第21号, 1-12頁. (2011.11)	東日本大震災後の演劇人の活動について
9. 食玩に関する生活文化的研究IV 生活財としての食玩の表象文化的研究 —贈答にまつわる図像の渡り—	単	2010年03月	武庫川女子大学紀要(人文・社会科学)	食玩を愛玩グッズと解釈し、食玩、および食玩と縁関係にある生活財の表象文化的研究の報告を行ない、アニミズムとの関連で仮説を提示する。
10. 食玩調査報告 釜山における食玩事情	共	2007年03月	生活美学研究所紀要 生活デザイン小研究会 4	北村薫子 櫻谷かおり 野田仁美
11. 「崇高とグロテスクと恣意とカワイイ食玩と」	単	2007年03月	生活美学研究所紀要 生活デザイン小研究会 4	
12. 食玩調査報告 釜山における食玩事情	共	2007年03月	生活美学研究所紀要 生活デザイン小研究会 4	北村薫子 櫻谷かおり 野田仁美
13. 「現代日本の生活文化における食玩〔オマケ〕に関する序説」	共	2006年12月	道具学論集	横川公子 延藤久美子 岡田春香 櫻谷かおり 西田透 山本泉
14. 「食玩に関する生活文化的研究 I—食玩情報の所在および調査方法に関する覚書」	共	2006年03月	『武庫川女子大学紀要(人文・社会科学)』	横川公子、延藤久美子、岡田春香、北村茂子、櫻谷かおり、西田徹、山本泉
15. 「アイコンをつくる—貞照寺と貞奴縁起を中心に—」	単	2006年03月	『武庫川女子大学紀要(人文・社会科学)』	
16. 文化化VS反文化化: 身体に象徴を刻印する自傷行為	単	2002年08月	『ファッション 環境』 1版 12巻 2号	欧米の身体変工はIT化で曖昧になった間身体的境界を皮膚上に再確認して平衡を保とうとする感覚消費の極限の一端をあらわしている。一方日本の若い女性は身体変工(化粧染毛)の手段等により白色人種、そしてマスコミによって調教された正しい身体を持つ黄色人種を超越したジェンダー<女性>に帰属することを渴望し、帰属できない自分を拒食等によって罰する。全 (pp. 52?60)
17. Sadayakko : image of woman	単	2002年01月	International Journal of Costume The Korean Society of Costume	川上貞奴の欧米渡航時の演劇活動が、当時のヨーロッパの芸術家達にどの様に受容されたか考察する。また、貞奴の着物の着装がファッションや身体の図

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
18. 参加型授業による抑圧解放願望の表出に関する考察—ファッション・ショー『3√7』のパフォーマンスを通して—	単	1996年03月	武庫川女性学研究	1版 1巻 像に与えた影響について述べる。資料としてはピカソのデッサン、浮世絵等も参考とする。全 (pp.57?69)
19. 狂言装束の制作	共	1996年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	筆者が実践する課題達成型あるいは参加型授業「ファッションショー」の教育的効果とその問題点に関する考察。全 (pp.31—8) 横川公子・森田雅子・井尻登喜子・山本裕香 大阪府芸術劇場公演「エナジー狂言」中の、風狂寸劇「男と女の擦れ違い談」における創作狂言装束（貧乏神の妻）制作の問題点について。(pp.92?3)
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 「ピカソの見た貞奴 —日本大衆芸能の受容—」	単	2010年9月	衣の民俗館、展示「ピカソの見た貞奴 —日本大衆芸能の受容—」基調講演	自著『貞奴物語 一禁じられた演劇—』（2009年刊行）に關係する資料の展示を解説
2. ” Snapshots of Japanese Popular Culture” (「日本の大衆文化における画像」)	単	2010年5月	Kusaka-Fosseen Distinguished Professorship Lecture Estern Washington University, Cheney, Washington, USA . (目下・フォッシーン 特任教授 特別公開講座)	自著『貞奴物語 一禁じられた演劇—』（2009年刊行）の解説を画像やステレオタイプの流布の点から行う。
3. Globalization: body image in Japan	単	2001年10月	Korean Society of Costume: Lecture Session (韓国服飾学会講演、韓国ソウル中央大学、ゲストスピーカー)	現代日本で身体像がどのような要因の影響を受けているか考察する。グローバル化の影響として1995年前後より日本でも出現したさまざまなサブカルチャーについても注目する。
<b>2. 学会発表</b>				
1. ” Less is more: Urban Lifestyles in Transition; an Aesthetic Reappraisal of Traditional and Rural Values (引き算の美学—変化する都市の生活様式・伝統的価値の見直し—)”	単	2012年9月	国際シンポジウム「都市のアート・アンド・クラフツThe Arts and Crafts of the City」 科研基盤研究 (A) 「アート・アンド・クラフツと民藝」2012.9月 (平成24) 年度研究会	東日本大震災後に見直されている、『陰翳礼讃』などにみられる和風住環境の伝統的な価値観と柳宗悦の後半生における東洋美学への傾倒の類似点について
2. “Disasters and the ( role of the performing Arts” ? An attempt to understand the situation after the 9.0 Magnitude Earthquake in Northeastern Japan March 11th 2011 14:46-	単	2011年6月	2011年6月 プラハ 開催劇場芸術国際組織 (O ISTAT) 歴史と理論部会・シンポジウムにおけるパネリスト	東日本大震災後の演劇人の状況と今後の舞台芸術の役割についての展望について
3. 「生活財としての食玩の表象文化的研究」	単	2009年08月31日	日本家政学会第61回大会、武庫川女子大学	フィールドワークや食玩データ化作業を通じて生活行動における画像消費を探り、人間の装飾・象徴衝動の一環で捉える画像の流通様相を明らかにする。
4. 洋装化とジェンダー	単	2007年06月	MKCR	開国以降の日本における洋装化とジェンダーの過程を、主に以下の4つの観点より考察する。シルエット変遷、ジェンダー別に検討した洋装化の特色、脚衣 (レギングス) の流行、人体の修辞技法としての仮説などである
5. 「アイコンをつくる—貞照寺と貞奴縁起を中心に—」	単	2005年07月	意匠学会研究例会	
6. 『二十一夜待ち』舞台衣装デザインコンセプト	単	2004年11月	意匠学会	園山土筆演出 劇団あしぶえ 第一回八雲国際演劇祭 People's Award受賞 作品の舞台衣装のデザインコンセプトについて述べる。<原始布>のイメージを生かした<薄汚くも気高い人々の群像>創出。
7. 「二十一夜待」舞台衣装デザインコンセプト	単	2003年11月	第45回意匠学会	園山土筆演出、劇団あしぶえ上演、八雲国際演劇祭受賞作品 (People's choice Award) 衣装デザインコンセプトについて
8. Wooden Reliefs and Family Crests for Sadayakko	単	2002年08月	第二十回国際服飾学術会議	川上貞奴の遺品は岐阜県各務原市貞照寺内貞奴縁起館や埼玉県大宮の養子実家にある。着物には貞奴の立場を反映して3種の家紋が施されている。画家の香葉女史 (龍田楓)、福澤桃介の権妻 (割楓)、そして故川上音二郎の妻 (九枚笹)。彼女の複雑な立場は貞奴建立貞照寺本堂腰羽目板の彫物「貞女縁起 (通称)」にもみられる。これは成田山新勝寺日本堂の棧唐戸に施された二十四孝に倣ったと推測される。
9. 文化化VS反文化化: 身体に象徴を刻印する自傷行為	単	2002年06月	ファッション環境学会第11回年次大会 2002 東京大会	欧米の身体変工はIT化で曖昧になった間身体的境界を皮膚上に再確認して平衡を保とうとする感覚消費の極限の一端をあらわしている。一方日本の若い女

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
10. 生活文化と舞台芸術：川上一座と貞奴の活動	単	2001年11月	家政学会	性は身体変工（化粧染毛）の手段等により白色人種、そしてマスコミによって調教された正しい身体を持つ黄色人種を超越したジェンダー＜女性＞に帰属することを渴望し、帰属できない自分を拒食等によって罰する。 生活文化と舞台芸術の接点について述べる。帝国劇場附属女優養成所設立、音二郎亡き後の川上一座の活動の2点から分析する。
11. Sadayakko : image of woman	単	2001年08月	国際服飾学術会議 パリ開催	川上貞奴の欧米渡航時の演劇活動が、当時のヨーロッパの社会や芸術家達にどの様に受容されたかを考察する。また貞奴の着物の着装がファッションや身体の図像に与えた影響について述べる。
12. Globalization of the tribal	単	2001年06月	Korean Society of Costume and Textiles / International Textiles and apparel Association joint world conference panel discussion : Globalization Seoul, Korea	身体変工のグローバル化の経緯について歴史的・文化社会的に考察する。
13. Das Theater in Japan	単	2001年05月	Internationaler Forum junger Bühnenangehöriger	日本の地方における演劇活動の実情について述べる。
14. 川上音二郎・貞奴の欧米渡航（1899-1902）－世紀末と“Japanese Players”の受容－	単	2000年08月	第18回国際服飾学術会議（中華民国・台北・国家図書館国際会議庁）	1903年から東京明治座で上演された川上座による翻訳劇『オセロ』における「台湾」の要素を抽出しその「イメージ戦略」を分析したうえで、とりわけいわゆる「S字シルエット」と着物を服飾美学の観点から比較分析した。
15. 川上座の舞台美術とイメージ戦略	単	2000年07月	意匠学会・第164回研究例会（武庫川学院甲子園会館）	1903年から東京明治座で上演された川上座による翻訳劇『オセロ』を一次資料から復元する作業を行いながら、とりわけ当時演劇界で話題になった洋風舞台美術の「イメージ戦略」を、演劇論、演技論、美術史および文化変容論の視点から分析を加えた。
16. 川上貞奴の第一次欧米渡航（1899-1901）－『芸者と武士』の受容－	単	2000年06月	第19回国際服飾学会総会・大会（大妻女子大学）	日本、アメリカ、イギリス、フランス、スペイン等に散在する川上一座の第一次欧米渡航に関する一次資料の調査結果と、早稲田大学演劇博物館所蔵の『芸者と武士』に対する演技論的分析から、欧米における川上一座の受容の文化的意義を分析した。
17. 劇団あしぶえ主宰「木下順二『二十二夜待ち』をめぐる舞台衣裳ワーク」ショップ		1999年07月	島根県八束郡八雲村劇団あしぶえ・しいの実シアター	第1回八雲国際演劇祭のための舞台美術制作、麻と草木染めによる創作衣裳の着付け、および、装飾、小物制作を劇団アートスタッフに指導。
18. 星降る里演劇計画実行委員会「しいの実シアター演劇学校」	単	1998年01月	ワークショップ講演「衣裳デザイン講座－その1－」	文化庁「文化の町造り事業」の一貫として、「劇団あしぶえ」、「しいの実シアター」、および島根県八束郡八雲村が出雲市市民会館で共同開講した「しいの実シアター演劇学校」において、大舞台と小舞台における衣裳制作技術の違いについての講演と、実際の衣裳を使って制作ワークショップ講師を務めた。
19. 参加型授業『ショー』について	単	1995年08月	女性学講座「変革への『力』－女たちのエンパワーメント」	本学に於て発表者（森田）が実践する課題達成型あるいは参加型授業「ショーとパフォーマンス」の教育的効果および問題点に関する報告。
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
1. World Stage Design Online Gallery	単	2017年7月(2020年まで掲載)	WORLD STAGE DESIGN 2017 IN TAIPEI ONLINE GALLERY	4年後ごとに開催される世界的な舞台美術展示会。サイトに「安寿と厨子王」の衣裳を2020年まで継続展示。 <a href="http://www.wsd2017.com/exhibition/gallery/?sec=1&amp;cat=0&amp;p=2">http://www.wsd2017.com/exhibition/gallery/?sec=1&amp;cat=0&amp;p=2</a> <a href="http://wsd2017.com/exhibition/detail/?pid=891">http://wsd2017.com/exhibition/detail/?pid=891</a>
2. セロ弾きのゴーシュ 衣裳リメイク	単	2015年9月～12月	劇団あしぶえ 園山土筆演出	主要登場人物の全衣裳を全く新機軸の抽象的なラインでリメイクした。
3. 『二十二夜待ち』衣裳デザイン	単	2014年6月22日、7月5日、7月6日、7月19日、7月20日、10月5日	NPO法人あしぶえ公演、園山土筆 演出、文化庁助成公演『二十二夜待ち』	衣裳の再構想、創造とリメイク
4. 『安寿と厨子王』 衣裳デザイン	単	2013年9月29日、10月6日、20日、11月24日	NPO法人あしぶえ公演、園山土筆 演出、文化庁助成公演	衣裳のリメイク
5. 森鷗外誕生150周年記念「安寿と厨子王」衣裳デザイン（文化庁平成24年度 優れた劇場・音楽堂）	単	2012年10月10日、14日、28日、11月4日	NPO法人あしぶえ公演、園山土筆 演出、森鷗外原作、田中小百合脚色	「安寿と厨子王」の衣裳を和紙と麻を主要な素材として製作する。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
からの創造発信事業 助成)		、25日.	(文化庁平成24年度 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 助成)、衣装50点以上.	
6. 「貞奴」(現代舞踊) 衣装デザイン	単	2011年3月16日—18日	名古屋市文化振興事業団主催公演「花より華らしく・・・芸術に生きた女・女・女」倉知可英 出品 (名古屋市千種文化小劇場)・「貞奴」	ダンサー倉知可英とコラボレーションして舞踊にあわせた衣装デザイン
7. 『ゼロ弾きのゴーシュ』衣装20点のリメイク	単	2011年6月?7月、11月	NPO法人あしぶえ公演、園山土筆 演出	衣装のデザインと製作
8. 「ピカソの見た貞奴 ー日本大衆芸能の受容ー」	単	2010年9月4日18	衣の民俗館展示9月4日—18日	日本の大衆芸能の受容に関する貞奴の写真・資料展示
9. 『ゼロ弾きのゴーシュ』(文化庁平成22年度 優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業 助成)、衣装50点以上のリメイク、10月—11月.	単	2010年10月?11月	第4回 八雲国際演劇祭NPO法人あしぶえ公演、園山土筆 演出	衣装のデザインと製作
10. 『おこんの初恋』 衣装デザイン(リメイク)		2009年10月		海外をはじめ国内でも多数受賞のNPO法人あしぶえ(劇団あしぶえ)の依頼で北条秀司原作、園山土筆演出の20年ぶりの再演用の衣装を制作する。
11. WSD展示 衣装デザイン(二十二夜待ち)		2009年09月		主催: J A T E T 社団法人 劇場演出空間技術協会 共催: あうるすぽっと、O I S T A T日本センターWSD2005出展の『二十二夜待ち』衣装を依頼により、ホワイエに飾る。
12. 伊藤熹朔賞選考会		2008年03月	東京・紀伊国屋画廊	もうひとつのカルメン・青い地球への讃歌衣装2点とパネル2点出品
13. 教える側と学ぶ側 二つの視点からみた作品展 舞台美術プランナーの休日		2008年03月	兵庫県立尼崎青少年創造劇場	板坂晋司氏バックステージ受賞記念展示会。彦市ばなし、もうひとつのカルメン、青い地球への讃歌、二十二夜待ち展示
14. 阪神センター合唱団 第25回定期演奏会 『この地球に生まれて』		2008年02月	ピッコロシアター大ホール	衣装協力
15. 踊る蛇		2007年12月	人間座スタジオ	田畑実の難曲を、バリ舞踊を取り入れた斬新な草野京伝の演出で見せる。衣装の時代考証、監修
16. もうひとつのカルメン		2007年11月	兵庫県立芸術文化センター 小ホール	森田雅子衣装デザイン、有吉真知子演出、奥村哲也指揮
17. 青い地球への讃歌		2007年09月	兵庫県立芸術文化センター 大ホール	税所美智子ハートフルコンサートの会主催によるソリスト・合唱・舞踊のコンサートショー。ソリストの衣装と240名の合唱団の衣装をてがける。合唱団衣装に関しては服飾文化部の協力。4200人の来場を得る。
18. 総合高等学校文化祭 『贋作 日本の面影』		2007年07月	島根県松江市くにびきメッセ	島根県教育委員会依頼、衣装デザインおよび製作指導
19. セロ弾きのゴーシュ		2007年06月	しいの実シアター	衣装リメイク(カッコー、楽手、ゴーシュ・コンサートの衣装)
20. 『貧乏物語』		2006年10月	人間座 人間座スタジオ	井上ひさし作、1930年代を時代背景とした戯曲。衣装考証・製作。
21. セロ弾きのゴーシュ		2006年07月	しいの実シアター	衣装デザイン・製作
22. 『ブラボー! ファーブル先生』		2006年07月	劇団あしぶえ しいの実シアター	平石耕一作、園山土筆演出による上演。衣装デザイン・製作担当
23. WSD報告展		2005年11月	メイシアター	トロント開催第一回ワールドステージデザイン展の参加報告および舞台衣装展示
24. 飛んで孫悟空		2005年08月	ピッコロシアター他	別役実書き下ろし台本。衣装製作指導
25. 彦市話		2005年06月	しいの実シアター	衣装デザイン・製作
26. ワールド・ステージ・デザイン2005 Exhibition Gallery		2005年03月	Fairmont Royal, Toronto Canada	OISTAT(劇場芸術国際組織)USITT(米国舞台技術組織)CITT(カナダ舞台技術組織)主催の世界的規模の舞台美術展示会に入選、展示。
27. 2004年光州ビエンナーレ International Art to Wear 展		2004年09月	光州現代美術館	創作能衣裳<道成寺>の展示
28. 彦市話		2004年08月	しいの実シアター	木下順二作。園山土筆演出。劇団あしぶえ。しいの実シアター、出雲市ビッグハート公演。第二回八雲国際演劇祭参加。
29. 姫路労音創立50周年記念企画 6・7月A例会 オペラ『カルメン』ハイライトコンサート		2004年06月	姫路文化センター代ホール	衣装協力。
30. 「第31回伊藤熹朔選考会出品「ゼロ弾きのゴーシュ」衣装出展 紀伊国屋画廊		2004年03月		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
31. 「現代日本の衣匠」衣裳写真掲載（「二十一夜待」「オペラ阿国」「アマリリス」）		2004年03月		
32. 「現代日本の衣匠」出版記念展 東京銀座 ArtBox Gallery パネル展示		2004年03月		
33. 「息吹?ibuki?」だるままどか演出、衣裳デザイン、製作（身体障害者用）		2003年11月		
34. 意匠学会ポスターセッション「二十一夜待ち」舞台衣裳デザインコンセプト		2003年11月		
35. 「ゼロ弾きのゴーシュ」2003年度世界演劇会議視覚的表現最優秀賞受賞記念公演島根県民文化ホール		2003年11月		
36. “Power of Stage Art” 尼崎青少年創造劇場 「二十一夜待」衣裳2点他展示		2003年10月		
37. 「ゼロ弾きのゴーシュ」視覚的表現最優秀賞受賞（世界演劇会議とフェスティバル、カナダ）		2003年07月		
38. 「ゼロ弾きのゴーシュ」衣裳デザイン、製作。劇団あしぶえ、カナダ「世界演劇会議とフェスティバル」		2003年07月		
39. 舞台美術、劇場建築国際展示会2003年度プラハ、カドレニアル、日本ブース衣裳出品		2003年06月		
40. 衣裳デザイン・勢作・園山土筆演出・『二十一夜待ち』国民文化祭ゆめふえすたとっとり		2002年10月		
41. 衣裳時代考証・草野京伝演出・眞船豊作『馳』劇団人間座・人間座スタジオ	単	2002年06月		
42. 舞台美術・衣裳デザイン・岩淵達治演出『クルト・ヴァイルの女たち』・愛知県立芸術劇場小ホール		2002年06月		
43. オペラ『阿国』京都春秋座 舞台美術・衣裳デザイン（松本重孝演出・阪哲朗指揮・尾上和彦作曲）		2001年10月		
44. 創作衣裳『迦陵頻伽』（天正風小袖・水干・五衣）をパリ国際服飾芸術会議<Art to wear>部門で展示		2001年08月		
45. 木下順二作・園山土筆演出『二十一夜待ち』舞台衣裳デザイン・制作 第一回八雲国際演劇祭他 十一回 連続公演 6月?11月		2001年06月		
46. 宮沢賢治作・園山土筆演出『ゼロ弾きゴーシュ』舞台衣裳デザイン、制作		2001年06月		
47. 衣裳展示・『JATDT国際舞台美術展・舞台美術市場』芸術文化振興基金助成事業世田谷パブリックシアター		2001年		
48. 日本ジェンダー学会主宰オペラ公演「カルメン」（G・ビゼー作曲、有吉真知子演出、森池久子、橘茂、井原 人鳥居直子、松下雅人他出演）における衣裳デザインおよび製作。（武庫川女子大学音楽部ホール）		2000年11月		
49. 日本ジェンダー学会主宰オペラ公演「カルメン」（G・ビゼー作曲、有吉真知子演出、森池久子、橘茂、鳥居直子、松下雅人他出演）における衣裳デザインおよび製作。（肥後橋YMCA）		2000年10月		
50. クルト・ヴァイル生誕100年 没後50年メモリアルコンサート「クルト・ヴァイルの女たち」（メゾ・ソプラノ：笥聡子、ピアノ：小笠原貞宗、特別出演：岩淵達治、		2000年10月		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
構成・編曲：相羽良美、照明：御原祥子）における舞台美術および衣裳デザインおよび製作。（世田谷パブリックシアター）				
51. 2000年度舞台美術家協会展“見る・観る・魅せる”「アートな世界舞台美術展」に舞台衣裳作品の写真パネル2枚、衣裳作品2展を出品展示。（愛知県知立市・知立市文化会館＜パティオ池鯉府＞）		2000年09月		
52. プラハカドリエンナーレ‘99国際舞台美術博日本出品作品のための展示会「舞台美術展2000；プラハと関西両面飾り」に、舞台衣裳作品の写真パネル2枚、衣裳作品4点を展示。（大阪府立現代美術センター）		2000年09月		
53. 遊劇体公演「ドリームス」（作・演出キタモトマサヤ）における衣裳デザイン・制作および監修。（京都大学西部講堂）		2000年08月		
54. 「劇団あしづえ」のロングラン上演作品「セロ弾きのゴーシュ」（原作：宮沢賢治、脚本・演出：園山土筆）のための衣装デザイン・制作。ゴーシュ、楽団長、カッコウ、ネズミ、ネコ、たぬきなどの衣裳約20点。（島根県八束郡八雲村「劇団あしづえ」）		2000年07月		
55. 日本ジェンダー学会主宰オペラ公演「カルメン」（G・ビゼー作曲、演出：有吉真智子）における衣裳デザイン制作。（東洋英和女学院六本木校）		2000年07月		
56. 「2000国際光州ビエンナーレ・ART TO WEAR部門にて創作衣裳口「班女」および「星の誕生」を招待展示		2000年03月	韓国・光州市現代美術館	
57. 人間座公演（人間座スタジオ落成記念・人間座第44回公演）口「子狐たち」（リリアン・ヘルマン作、小田島雄志翻訳；藤沢薫演出）における衣裳デザインおよび監修。		1999年12月	人間座スタジオ	
58. 箕輪子メゾソプラノリサイタル「輝けるロシアロマン」におけるコンサート用衣裳デザインおよび製作監修担当。		1999年11月	名古屋；電気文化会館ザ・コンサートホール	
59. 八雲アクターズ公演（第1回八雲国際演劇祭参加作品）「二十二夜待ち」（木下順二作、園山土筆演出）における出演者全員のための中世民話風衣裳デザインおよび製作。		1999年11月	島根県八雲村しいのみ劇場	
60. 遊劇体公演（大阪野外劇フェスティバル参加作品）「あらし」（台本、演出キタモト・マサヤ）における衣裳デザイン・及び製作。		1999年10月	大阪築港赤レンガ倉庫敷地内特設野外劇場	
61. 遊劇体公演「ギルガメッシュの夜」（作・演出；キタモトマサヤ）における衣裳デザイン・制作・監修担当		1999年07月	新宿・タイニイ・アリス、京都大学西部講堂	
62. 人間座・遊劇体共同プロダクション「11びきのねこ」（井上ひさし作、芦田鉄雄・キタモトマサヤ演出）の舞台美術制作および衣裳デザイン・制作・監修。（京都府立文化芸術会館）		1999年03月		
63. 98人権平和フォーラム 豊中市市民演劇「陽だまりの樹」〔手塚治原作、又川邦義脚本・演習〕の衣裳デザインおよび衣裳監修。出演者約100名分の幕末時代衣裳デザイン及び着付け監修。（豊中市立アーク文化ホール）		1998年11月		
64. 劇団あしづえ公演「ブラボー！フ		1998年10月		



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<p>「アーブル先生」（平石耕一作、園山土筆演出）の衣裳デザイン・制作・監修。昨年よりのロングラン公演のための衣裳補正修正と追加衣裳の制作。（島根県八束郡八雲村・しいの実シアター）</p>		1998年10月		
<p>65. 人間座・遊劇体共同プロダクション「11びきのねこ」（井上ひさし作、芦田鉄雄・キタモトマサヤ演出）の舞台美術制作および衣裳デザイン・制作・監修。オリジナル布フェルトによるネコ用衣裳〔12点〕、ネコ頭部〔12点〕、「おおきなさかな」ほか。（滋賀県守山市民会館ホール、以後連続講）</p>		1998年07月		
<p>66. 京都中央少年少女合唱隊ドイツ公演・合唱オペラ「つるものがたり」（原詩；谷ひろし、台本；なかえひろこ、作曲；森岡雄二、演出；芦田鉄雄、美術；板坂晋治）の衣裳デザイン・制作担当。（プレーメン、ブルックザール、ケルンほか）</p>		1998年07月		
<p>67. 京都中央少年少女合唱隊「アクティバ琵琶湖コンサート」合唱オペラ「つるものがたり」（原詩；谷ひろし、台本；なかえひろこ、作曲；森岡雄二、演出；芦田鉄雄、美術；板坂晋治）の衣裳デザイン・制作・監修担当。（滋賀県大津市アクティバホール）</p>		1998年07月		
<p>68. 第17回国際服飾学会Costume Exhibition: Art to Wear部門に創作衣裳出展。作品名「森の響き」；素材及び技法；布フェルト。（韓国ソウル、ホテルロッテワールド）</p>		1998年07月		
<p>69. （泉佐野市立文化会館・泉の森小ホール）泉佐野市人権対策本部主宰 ふあいん21フォーラム`98Car men（G・ビゼー作曲、有吉真知子演出）オペラ「カルメン」を通して考えるあなたにとっての愛とは自由とは・・・美術構想・衣裳制作監修担当</p>		1998年03月		
<p>70. （京都府立府民ホール“アルティ”）財団法人京都文化財団主宰 アルティ・ブヨウ・フェスティバル`98特別公演『ダンスセレクション?Beyond the Age・男展』・角正之&amp;ダイスキャンププロジェクト：『Blue Ego Blue』衣裳デザイン・制作担当</p>		1998年02月		
<p>71. （出雲市市民会館ホール）劇団あしぶえ公演「ブラボー！ファール先生」（平石耕一作・園山土筆演出）出雲総合芸術文化祭・いずも文化フェスタ`97衣裳制作・監修担当</p>		1998年01月		
<p>72. 10月26日から連続公演（劇団あしぶえ・しいの実シアター）劇団あしぶえ公演「ブラボー！ファール先生」（平石耕一作・園山土筆演出）衣裳制作・監修担当</p>		1997年10月		
<p>73. （西宮市民会館アミティーホール）第35回西宮少年合唱団定期演奏会第2部少年少女のためのオペレッタ「お宝の手ぬぐい」（瀬川拓男作・芦田鉄雄演出）メイク・衣裳制作担当</p>		1997年03月		
<p>74. （天満橋ドーンセンター）武庫川女子大学女性学第一回公演「カルメン」（G・ビゼー作曲・森池日佐子総監督）美術構想・衣裳制作監修担当</p>		1997年03月		
<p>75. （天満橋ドーンセンター）演劇集団虹プロデュース公演Vol. 3 イブ</p>		1997年03月		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
セン原作「人形の家」（原千代海訳・岩田直二演出）衣裳制作監修担当				
76. （富山市オーバーディーホール）国民文化祭参加和歌山ふるさとオペラ実行委員会主催・文楽オペラ「日高川入相花王」（芦田鉄雄演出）舞台美術・衣裳制作担当		1996年10月		
77. （大阪音楽大学・ザ・カレッジ・オペラハウス）日本オペラシリーズIV・フォークオペラ「よみがえる」（秋浜悟史演出・全2幕）衣裳制作・美術担当		1996年10月		
78. 9月28日初演（以後連続公演）人間座「奇蹟の人」（ウイリアム・ギブソン作・芦田鉄雄演出）衣裳制作・監修担当		1996年09月		
79. （愛知県扶桑文化会館）野々村明子DANCE SPACE 95?96；アマリリスー空に抱かれてー衣裳制作担当		1996年05月		
80. 5月12日（御坊市民文化会館）、17日（和歌山県民文化会館）和歌山ふるさとオペラ実行委員会主催・文楽オペラ「日高川入相花王」（芦田鉄雄演出）舞台美術・衣裳制作担当		1996年05月		
81. 大阪府芸術劇場公演「エナジー狂言」中の、風狂寸劇「男と女の擦れ違い談」における装束デザイン制作。		1995年09月	大阪府芸術劇場公演「エナジー狂言」。守口文化センターエナジーホール	創作狂言「男と女の擦れ違い談」中の「貧乏神の妻」の衣裳制作。現代的視点による狂言装束の創作。
82. 「和紙・織物ー建築空間への提言ー：立体平面オブジェ・タペストリー」における絹織物作品展示		1995年06月	十條商事株式会社アーキテクチュアルアートショールーム（名古屋市）	絹の創作織物。色彩設計、織デザイン、形状デザイン等はすべて森田が担当し、京都「服部絹織物」と共同で制作。織物の誕生神話をモチーフとする。
83. オープニング・パフォーマンス《攻撃のベクトル》		1995年03月	学校法人武庫川学院，明日をひらく武庫川女子大学ーシンポジウム特集ー	上記パフォーマンスの演出意図を『明日を開く武庫川女子大学ーシンポジウム特集』で発表。Published a Manifesto of the Symposium Opening Performance in the Proceedings of the Symposium, 'Asuwo-hiraku-Mukogawa-Joshi-daigaku'
84. ラグ「水月」展示		1995年01月	インテリアファブリックショー・JAPANTEX 95（幕張メッセ）	第12回徳島敷物デザインコンクール入賞作品（CG）をJapantex 95（幕張・インテリアメッセ）で展示。Exhibited a work of computer graphics 'SUIGE TSU' at Japantex 95 (Makuhari Interior Decorations Messe)；A prize-winning piece of the 12th Tapestry Design Competition of Tokushima
85. 第12回徳島の敷物デザインコンクール 入賞：作品名「水月」		1994年11月		四国徳島の自然をモチーフにしたタペストリー・デザイン A Tapestry design 'Suigefsu', a winner of the 12th Tokushima Tapestry and carpet design competition.
86. 武庫川女子大学創立55周年記念生活環境学科パフォーマンス《攻撃のベクトル》		1994年06月		武庫川学院創立55周年生活環境学部祝賀シンポジウム冒頭のパフォーマンスデザイン及び演出。クラシック、モダンダンス、創作衣装による新学科の理念を表現するパフォーマンス。Design and production of the opening performance for the Symposium (Section：Life Environment) commemorating the 55th Anniversary of the Mukogawa Gakuin. A dance performance presenting the ideas of the new faculty with original costume, classic music and dance.
87. EVA工房第3回舞台衣装展示とパフォーマンス：「糸の誕生、衣装の神話」		1993年09月	武庫川学院甲子園会館	ホール空間に機織機を据えて実際に機織りを行ない、衣装という第一環境を作り出す神話の過程をダンスによって表現した。A dance performance representing the myth of the origin of 'cloth', rhythmically accompanied by the actual process of weaving at a hand-loom.
88. 野田療サクソリサイタル第3回透明の影シリーズ [■]ー視覚と聴覚のはざまー衣裳制作発表		1993年06月	芦屋山村サロンホール	現代音楽家野田療の依頼により、演奏者の衣裳制作と繊維造形物を使った創作能衣裳のパフォーマンス。Costumes for the recital of the composer Noda Ryo, and dance-exhibition of a 'revolutionized' Noh-costume.
89. ファッション環境学会 第一回大会：ディスプレイ・セッション合同展示		1992年06月	武庫川学院第三学舎ホール	舞台衣装「班女」、「道成寺」及び写真展示
90. EVA工房第二回舞台衣装・モビール展及びパフォーマンス		1991年06月	名古屋バルコ	現代の最先端天文学による星の生成理論と謡曲のイメージを組み合わせた衣裳・モビールの個展及

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
91. 個展及びパフォーマンス EVA工房第一回舞台衣裳・デザイン画個展及びパフォーマンス		1990年10月	名古屋大黒屋画廊及び巖本真理メモリアル・ホール	びその衣裳を使つてのパフォーマンス。この個展は①造形美術協会刊行『暮らしの造形』（No.13、00.21-22）②読売新聞（7月14日付）③名古屋テレビ（7月12日放送の15分間の特集番組）に取り上げられた。また、この衣裳を使った水谷文彦撮影の写真は『コマースヤル・フォト』（Vol. 11, No.340, 1991）の特選となった。 12の謡曲をテーマにした舞台衣裳とデザイン画の個展及び、その衣裳を使つてのパフォーマンス。なおこの個展とパフォーマンスは朝日新聞（1990年11月2日付）紙面にとりあげられた。個展とパフォーマンス用のポスターを制作し（撮影：西川文章、グラフィック・デザイナー：上田賢次）、その際使用した衣裳（タイトル：班女）の写真は『年鑑日本の広告写真1992』（Advertising Photography in Japan に掲載 1992年7月出版）
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 巻頭言	単	2017年3月	武庫川女子大学 生活美学研究所 甲子プロジェクト 1号	甲子プロジェクト五ヶ年計画 端緒に就く ―発行に際して― 生活美学にねぎした鳴尾学の展開について
2. 巻頭言	単	2017年11月 (刊行予定)	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '16秋 「街をアートで遊ぶー地域が生まれ変わるー」	研究所の年間テーマ「遊」とシンポジウムテーマの関連性や趣旨について述べる
3. 巻頭言	単	2016年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '15秋 「素の美ー日本の美意識ー」 2-5頁	研究所の年間テーマ「素」とシンポジウムテーマの関連性や趣旨について述べる
4. 対談	共	2015年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '14秋 「阪神間ルネッサンスVI 燦めいて雅」シンポジウム記録18-26頁	宝塚歌劇団 演出家 木村信司（日本演劇協会賞、第58回芸術祭演劇部門優秀賞受賞）と歌劇の魅力について対談する
5. 巻頭言	単	2015年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '14秋 「阪神間ルネッサンスV I 燦めいて雅」シンポジウム記録 2-3頁	研究所の年間テーマ「燦」とシンポジウムテーマの関連性や趣旨について述べる
6. 巻頭言	単	2014年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '13秋 「里の宇宙」 2-5頁	研究所の年間テーマ「里」とシンポジウムテーマとの関連性や趣旨について述べる
7. 巻頭言	単	2013年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '12秋 「陰影礼讃」シンポジウム記録 2-3頁	研究所の年間テーマ「影」とシンポジウムテーマの関連性や趣旨について述べる
8. "One Year after the Disaster 3.11"	単	2012年6月	(劇場芸術国際組織OIS TAT JAPAN NEWS 2012 June . vol.7- Special edition 1-5頁.	
9. 巻頭言	単	2012年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '11秋 「間の中の美学」シンポジウム記録 2-3頁	研究所の年間テーマ「間」とシンポジウムテーマの関連性や趣旨について述べる
10. 巻頭言	単	2011年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '10秋 「味と伝統のサイエンス」シンポジウム記録 3-4頁	研究所の年間テーマ「味」とシンポジウムテーマの関連性、趣旨について述べる
11. 「繊維学会感性研究フォーラムの創設とその後の展開における生活美学の役割」 パネルディスカッション	共	2011年1月28日	生活美学研究所 第二回プレシンポジウム 2014年 生活デザイン小研究会報告書 15-30頁。	感性研究の動向について研究討議する。
12. 巻頭言	単	2010年11月	武庫川女子大学 生活美学研究所 Renaissance Symposium '09 秋 「弁当箱はアジアの	研究所の年間テーマ「箱」とシンポジウムテーマとの関連性や趣旨について述べる

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
<p>13. 『教える側と学ぶ側 二つの視点から見た作品展 舞台美術プランナーの休日』カタログ 劇団あしぶえ『二十一夜待ち』（2003年ブラハ・カドリエンナーレ出品）デザイン画、写真掲載</p> <p>14. 横川公子・森田雅子他『生活デザイン小研究会資料集—現代日本の生活文化における食玩（おまけ）の— オマケを通してみる時代と生活文化— 中間報告』の編集</p> <p>15. 『服飾におけるジェンダーの比較文化的研究』（科研費採択研究・代表者佐々井啓）研究会で女優貞奴に関する研究成果発表</p> <p>16. 2004年光州ビエンナーレ International Art to Wear Exhibition 出展創作能衣裳&lt;道成寺&gt;&lt;Womanserpent&gt;カタログ掲載</p> <p>17. 日本家政学会 服飾美学部会会報 24号ドイツ・プフォルツハイム大学教授 ロシェック氏講演『ヨーロッパの黒』抄訳掲載</p> <p>18. Japan Stage Design 2004 日本舞台美術家協会カタログ『オペラ阿国』『二十一夜待ち』『アマリス』掲載</p> <p>19. 日本家政学会 服飾美学部会 ドイツ・プフォルツハイム大学教授 ロシェック氏通訳</p> <p>20. ワールド・ステージ・デザイン2005 Exhibition Gallery カタログ掲載。OISTAT（劇場芸術国際組織）USITT（米国舞台技術組織）他主催の世界的規模の舞台美術展示会に入選、展示。</p> <p>21. 劇団あしぶえ主宰「『二十一夜待ち』をめぐる舞台衣裳ワークショップ」講師。（島根県八束郡八雲村・しいの実シアター）</p> <p>22. 箕生市文化振興事業団グリーンホール主宰「舞台衣裳講座」ワークショップ講師。（箕生市グリーンホール）</p> <p>23. 「カルメリータの時計」— 1 — 日本イタリア京都会館 友の会報 CORRENTE, Vol. 9, No. 94</p> <p>24. （翻訳）『稚蚕人工飼料』 イタリア=ラッティ社依託</p> <p>25. （翻訳）『家蚕及び野蚕の人工飼料育』 イタリア国立代替エネルギー研究所（ENEA）</p> <p>26. （翻訳）『人工飼料と栄養』 イタリア国立代替エネルギー研究所（ENEA）</p> <p>27. 「カルメリータの時計」— 2 — 日本イタリア京都会館 友の会報 CORRENTE, Vol. 9, No. 95</p>		<p>2007年</p> <p>2005年</p> <p>2005年</p> <p>2004年</p> <p>2004年</p> <p>2004年</p> <p>2004年</p> <p>2004年</p> <p>1998年</p> <p>1998年</p> <p>1992年</p> <p>1992年</p> <p>1992年</p> <p>1992年</p>	<p>玉手箱 —米食と漆が育む生活の美」シンポジウム記録 2—4頁</p>	
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
<p>1. 基盤研究（C） 継続</p> <p>2. 平成 22年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究代表者 継続</p> <p>3. 基盤研究（C） 継続</p> <p>4. 基盤研究（C） 新規</p>	<p>共</p>	<p>2010年</p> <p>2009年</p> <p>2009年</p> <p>2008年</p>		<p>生活財としての食玩に関する表象文化的研究 研究課題「生活財としての食玩に関する表象文化的研究（20520145）」</p> <p>生活財としての食玩に関する表象文化的研究</p> <p>生活財としての食玩に関する表象文化的研究</p>
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			
	国際服飾学会			

学会及び社会における活動等

年月日	事項
	意匠学会 日本舞台美術家協会 OISTAT（国際舞台芸術機構 Japan Center） デザインフォーラム 日本家政学会 日本家政学会 服飾史・服飾美学部会 デザインフォーラム 国際家政学会 環境芸術学会